

平成3年度厚生省心身障害研究
「市町村母子保健活動の効率化に関する研究」

市町村母子保健活動の効率化に関する研究
(分担研究：市町村母子保健活動の効率化に関する研究)

分担研究報告書

分担研究者 日本大学公衆衛生学教室

野崎 貞彦

要 約 母子保健サービスの現状を踏まえた上で、今後提供すべきサービスの内容、費用負担、供給主体のあり方等について、実地調査、有識者ヒアリング等により、多角的・実証的な検討を行い、今後の母子保健事業のあり方についての具体的方向を探る。

見出し語：保健指導、訪問指導、集団指導、健康診査

研究方法①研究協力者による検討（都道府県、市町村の行政担当者並びに医師、保健婦等の専門職員に研究協力者を依頼し、母子保健サービスのあり方について検討を行っている。必要に応じ、有識者ヒアリング）
②実地調査（北九州市、茨城県。下記参照）
③アンケート調査（都道府県母子保健担当課長宛て。「母子保健事業の現状についてのアンケート調査について」）

(内容概略)

①について

第1回～第3回の議題

(第1回)・母子保健事業の歴史及び最近の動き

(第2回)・「保育、子育てに関する行政施策の現状」

厚生省児童家庭局母子福祉課栃尾保育指導専門官

(第3回)・実地調査について報告

・「母子保健分野における新しいサービスについて」

・竹永委員(マザーリング研究所代表)

②について

[北九州市]

母子保健分野の健康診査を医療機関に委託する「北九州方式」を実地に視察に行った。

長所としては、個別健診のため時間が十部にとれること、かかりつけの医師ができることや、異常のあった場合、ただちにメディカルケアを受けられることなどがある。また、短所としては、集団検診と異なり、ほかの子供と比較する機会がないこと、医師によって要精密検査、要観察の判断基準が異なるおそれのあること、行政への負担が大きく、また、行政(保健所)に微妙な情報が入らなくなることなどがある。

北九州市において、このような方法が可能になった背景には、市内の地域格差が小さいこと、医師等が充実しているおり、まとまりも良いこと、また、財政的に余裕があったことなど、さまざまな要因が重なっており、他市において北九州方式が可能又は実効があるかどうかは一概には言えない。

〔茨城県水戸市〕

茨城県は、平成元年度から、三歳児健康診査を一部市町村に委託している。

今回は、茨城県及び受託の一例として水戸市を視察に行った。

委託までの経緯：茨城県では、県単事業である「茨城のびのび子育て事業」をモデル事業として実施しており、その結果、子育て事業は住民に身近な市町村実施が良いのではないか、母子保健事業を一貫して管理するためには、三歳児健診も市町村実施ができればいいのではないかといった検討がなされ、モデル的に水戸市で委託が開始された（平成元年）。

実施状況：月3回、一回60人程度、水戸市保健センターで実施。

ポイント：市で日程を決められるため、弾力的な実施が可能。

健診が一貫して行えるが、現段階では、一元化した情報を有効活用する域には達していない。

③について

（別紙調査票参照）

《今後の予定》

研究会については、今後はより具体的に毎回テーマを絞り、話題提供者を決めて討論する。当面のテーマは、保健指導、新しいサービス、健康診査。

アンケート調査については結果を集計し、各種健診の実施主体を把握するとともに、現場の意識を明らかにする。

平成4年度末までに一応のとりまとめを行う予定である。

(別紙)

都道府県母子保健担当課長に対するアンケート調査票

1 現在、国の補助等を受けて実施している母子保健事業についてのご意見をお聞かせください。

母子保健事業の種類	事業に対する評価 (d) を選択した場合はその理由を () 内に記入)	市町村委譲の困難度 (2) を選択した場合はその理由を () 内に記入)	医療機関等への委託の可否 (条件付きで可能の場合はその条件を () 内に記入)
健康診査等			
妊産婦健康診査・一般健康診査 ・精密健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
乳幼児健康診査・一般健康診査 ・精密健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
1歳6か月児健康診査 (市町村)	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
・精密健康診査 (市町村)	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
三歳児健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
・精密健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
医療機関委託の妊婦健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
・精密健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
医療機関委託の乳児健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
・精密健康診査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
先天性代謝異常等検査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
神経芽細胞腫検査	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
B型肝炎母子感染防止事業	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
母子保健訪問指導			
妊産婦訪問指導	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
新生児訪問指導	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()
未熟児訪問指導	a b c d ()	1 2 ()	可 否 実施中 ()

a …今後さらに拡充する必要がある
b …現状のままで良い
c …事業の効果に疑問を感じる
d …その他

1 …可能である
2 …困難である

母子保健事業の種類	事業に対する評価（d）を選択した場合はその理由を（ ）内に記入）	市町村委譲の困難度（2）を選択した場合はその理由を（ ）内に記入）	医療機関等への委託の可否（条件付きで可能な場合はその条件を（ ）内に記入）
保健指導			
妊娠婦乳幼児保健指導	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
健全母性育成事業	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
小児肥満予防教室	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
思春期教室	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
その他の保健指導で、市町村業務又は、保健所の健康教育として実施しているもの			
婚前学級	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
新婚学級	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
母親学級	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
育児学級	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）
その他（市町村事業等）			
思春期保健・福祉体験学習事業	a b c d（ ）	—	可 否 実施中（ ）
母子健康手帳の交付	a b c d（ ）	—	—
母子栄養健康づくり事業	a b c d（ ）	—	可 否 実施中（ ）
乳幼児健全発達支援相談指導事業	a b c d（ ）	—	可 否 実施中（ ）
母子保健推進員活動事業	a b c d（ ）	—	—
母子保健地域組織育成事業	a b c d（ ）	—	—
妊産婦等栄養強化事業	a b c d（ ）	—	—
療育の指導	a b c d（ ）	1 2（ ）	可 否 実施中（ ）

a … 今後さらに拡充する必要がある
b … 現状のままで良い
c … 事業の効果に疑問を感じる
d … その他
1 … 可能である
2 … 困難である

2 今後、母子保健事業として新たに設けるべきサービス（さらに、望ましいと考えられる実施主体）や、特に重点的に実施すべきサービスはありますか。また、貴自治体で独自に実施している母子保健事業（但し、医療費援助を除く。）があれば、その制度名を記入するとともに、要綱を添付してください。

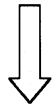
○ 新たに設けるべきサービス

事業名	事業の概略	望ましいと考えられる実施主体

○ 貴自治体で独自に実施している母子保健事業

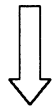
事業名	実施主体	事業名	実施主体

3 母子保健事業の今後の課題、ご意見等自由に記述してください。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 母子保健サービスの現状を踏まえた上で、今後提供すべきサービスの内容、費用負担、供給主体のあり方等について、実地調査、有識者ヒアリング等により、多角的・実証的な検討を行い、今後の母子保健事業のあり方についての具体的方向を探る。